

平成28年度

石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅱ期）

「学習指導の改善を図る研修会」

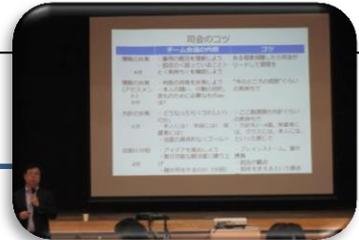
本研修会は、石巻市内小・中学校の教員を対象に平成27年度から本格的にスタートし、今年で2年目となります。石巻市の各小中学校が抱える学校課題の解決に向けて、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から教員の指導力向上を図り、その結果、学級や学校の力が向上し、学力も向上していくという認識のもと、取り組んでいるものです。

第13回、第14回研修会

○日時 平成29年2月6日（月）、7日（火）9：30～

○場所 石巻市立万石浦小学校体育館

○講師 広島大学大学院教育学研究科附属教育実践総合センター長 栗原慎二教授



☆研修内容

6日午前：子どもの発達と愛着

愛着に課題を抱える人たちへの支援（事例検討）

午後：アセスの使い方・生かし方（事例検討）

7日午前：学校改善に向けたプロジェクトマネジメントの実際

午後：対立の解消、修復的正義



- ・ 普段学校でケース会議を行い、学級担任や学校としての方針を立てて指導を行っているが、発達障害や愛着障害等の視点での見立てが甘かったと本研修で感じた。「見立てが全て」という言葉どおり、どうい
う見立てをするかで方針が決まってしまう。しっかりと仮説を立てて方針を決め、その際のリソースは
何かを見極めながら、今後も指導にあたっていきたい。（小学校・男性）
- ・ 「これまでの経験だけでなく、きちんと理論に基づいて見立てをしてください」と言われた時、これまで
学んだことが「なるほどな～」と分かった気がした。「この子は承認欲求が満たされていないんだね」「こ
の子は交流欲求を満たしたくてかくれんぼしているんだね」と理解することができた。そのように子
どもを理解していくことで、その子に合った支援ができるのだと思った。（小学校・女性）
- ・ 9月に研修を受けたときは、まだよく分からなかったことも多かったのですが、研修を重ねてきて新た
に自分の学校における立ち位置や役割の重要性に気づかされました。用語の意味等も以前より理解して
きたと感じました。SELやピアサポート、協同学習の必要性を実感できました。学校に戻って、どのよ
うに先生方にも伝えていけるか、これが課題だと思っています。（中学校・女性）
- ・ 問題やトラブルの解決の仕方について講義を受けました。大切なのはそれぞれ当事者から事実の確認を
行い、それを相手に伝えることです。また、結論をこちら側から示すのではなく、あくまで本人に決め
させることが重要です。このようなスキルを子どもたちが学び、さまざまな問題を子どもたち同士で解
決できたら素晴らしいです。（中学校・男性）